

令和7年度 野生鳥獣による農作物被害の状況について

1 被害額

令和7年度 80,812千円（速報値）
（対前年比93%, 5,657千円の減）

2 獣種別作物被害額の概要

ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルによる被害額が全体の97%を占めた。

- （1）ニホンジカ：41,489千円（前年度比120%, 6,868千円増）
果樹（ミカン、スタチ、ユズ等）への被害額が65%を占めた。
- （2）イノシシ：21,525千円（前年度比78%, 6,053千円の減）
水稻、タケノコへの被害額が65%を占めた。
- （3）ニホンザル：15,029千円（対前年比80%, 3,650千円の減）
果樹（ユズ、スタチ、ナシ等）、水稻への被害が70%を占めた。
- （4）その他：2,769千円（対前年比50%, 2,823千円の減）
鳥類（カラス、ヒヨドリ等）による被害額が82%、
中型獣類（ハクビシン、アナグマ等）による被害額が18%を占めた。

3 獣種別の捕獲頭数（速報値）

ニホンジカ	20,223頭（前年度比 108%）	・・・過去最多
イノシシ	3,847頭（前年度比 52%）	
ニホンザル	957頭（前年度比 44%）	
合 計	25,027頭（前年度比 89%）	

4 今年度の対策

- （1）防護対策
 - ・ 侵入防止柵の設置や追い払い、放任果樹の除去など集落ぐるみによる防護対策の支援
- （2）捕獲対策
 - ・ 市町村や地域協議会、猟友会と連携した捕獲の推進
 - ・ ICTを活用した罠の遠隔監視やセンサーによる野生鳥獣の自動捕獲システム等の導入
- （3）担い手対策
 - ・ 新規狩猟者確保のための「出前講座」や「とくしまハンティングスクール」、新人狩猟者に対する「フォローアップ講座」の開講
 - ・ 有害鳥獣捕獲従事者等を対象に、ヘルメット等の捕獲者の安全対策に係る支援や事故防止のための学び直しの実施